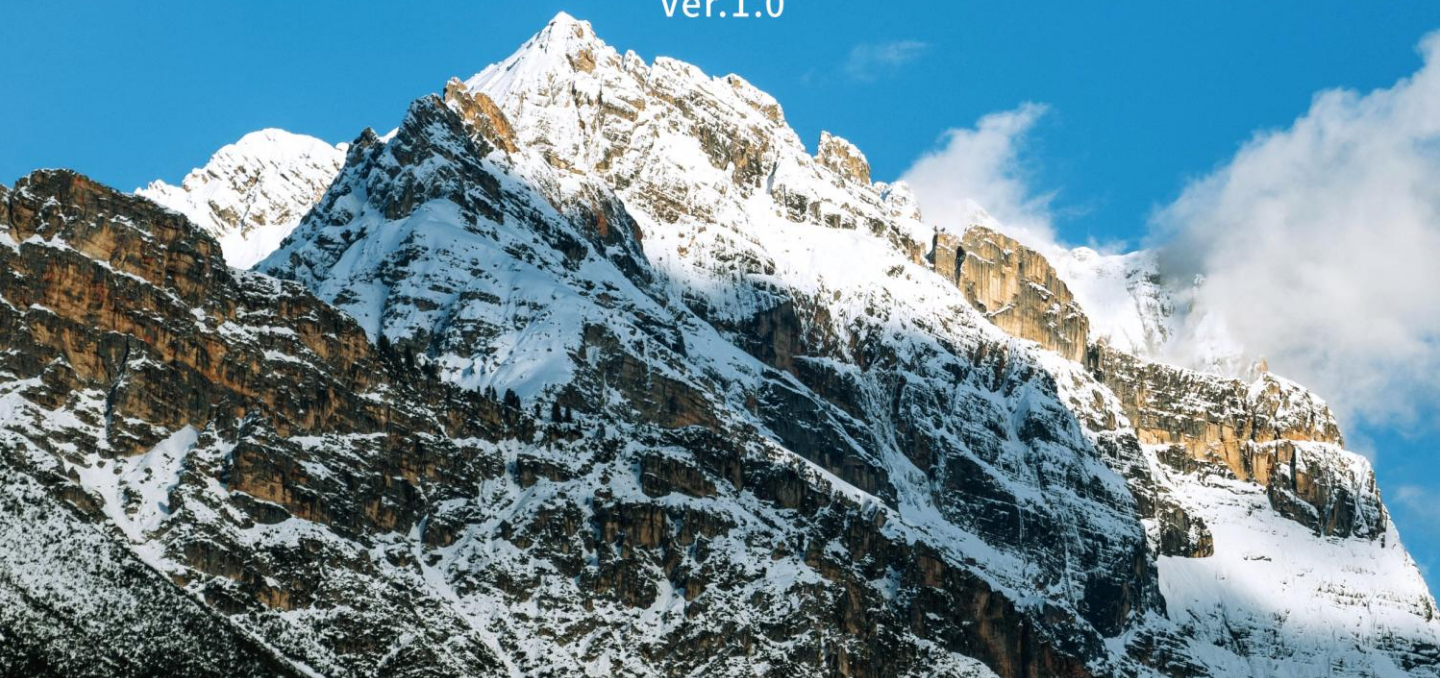


ミラノ・コルティナ2026 パラリンピック冬季競技大会 日本代表選手団員等の マーケティング・ デジタルメディアガイドライン

公益財団法人日本パラスポーツ協会

日本パラリンピック委員会

Ver.1.0



はじめに



本ガイドラインは、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会に出場する、

(1) 日本代表選手団員(以下「大会参加者」)

(2) 競技団体

(3) 大会参加者が勤務・所属する企業/

在学する学校(以下「所属先」)

(4) (1)～(3)までのそれぞれのスポンサー等

上記の皆さまに、パラリンピックの知的財産や、パラリンピックに向けたマーケティング活動の意義を説明し、これらのマーケティング活動の権利を損なわずに、いかに大会参加者が広告・宣伝活動に出演できるかについて、説明したものです。

広告・宣伝活動を行う場合、本ガイドラインを参照のうえ計画実行してください。

● Chapter 1

序文および背景

- P4 [アンチ・アンブッシュの必要性](#)
- P5 [パラリンピックの知的財産](#)
- P6 [アンブッシュ例 パラリンピックを想起させる表現](#)
- P7 [アンブッシュにあたらぬ例 パラリンピックを想起させない表現](#)
- P8 [オリンピック・パラリンピックパートナー/スポンサー](#)
- P9 [JPCオフィシャルパートナー](#)

● Chapter 2

【団体・企業等が発信する場合】

大会に関連した活動

- P11 [基本概要](#)
- P12 [プレスリリース](#)
- P13 [Webサイトの掲載/SNS\(大会参加者に関するメッセージ\)](#)
- P15 [Webサイトの掲載](#)
- P17 [SNSの掲載](#)
- P19 [記者会見\(内定/代表決定\)・壮行会・祝勝会・報告会](#)
- P20 [お祝い横断幕](#)

● Chapter 3

大会参加者(個人)が発信する場合

- P22 [SNS【アスリートスポンサー等への感謝メッセージ】](#)
- P23 [SNS【大会に関する投稿】](#)

● Appendix

- P27 [その他](#)
- P28 [IPC/JPC/ミラノ・コルティナ2026 公式アカウント等](#)
- P29 [資料等](#)
- P30 [用語の解釈](#)
- P33 [お問い合わせ](#)

Chapter 1

序文および背景



アンチ・アンブッシュの必要性

パラリンピック大会の準備・運営には、多額の財源が必要です。この財源を確保するために、パラリンピックの知的財産を使ったマーケティング活動が行われています。

**このため、パラリンピックの知的財産の権利を保護し、
無断使用、不正使用、流用等の
アンブッシュマーケティングを防止することが必要です。
(=アンチ・アンブッシュ)**

日本パラリンピック委員会(以下、「JPC」)は、国際パラリンピック委員会(以下「IPC」)から、IPCの独占的な所有物であるパラリンピックの知的財産(以下、総称して「パラリンピックに関する知的財産」という)の日本国内における運営・管理を任され、JPCパートナー制度の導入により財源確保のためのマーケティング活動を行っています。この多額な協賛金の対価として、JPCパートナーには、パラリンピック日本代表選手団をテーマとした宣伝活動を行う権利が認められています。

一方で、これらのパラリンピックに関する知的財産を無断使用、不正使用ないし流用することは、IPC及びJPCの権利を侵害するばかりでなく、パートナー等からの協賛金等の減収を招き、ひいては大会の運営や選手強化等にも重大な支障をきたす可能性があります。このため、これらの知的財産を保護し、アンブッシュマーケティング(以降、“アンブッシュ”)を防止することが必要となります。

パラリンピックの知的財産

パラリンピックに関する主な知的財産としては、パラリンピックシンボル(スリー・アギトス)、大会エンブレム、大会名称、大会マスコット、ピクトグラム、大会モットー、パラリンピックに関する用語、画像および音声等があります。これらは知的財産として保護されているため、自由に使用することはできません。



IPC(国際パラリンピック委員会)
シンボルマーク



ミラノ・コルティナ2026
パラリンピックエンブレム



JPCエンブレム



マスコット
(ティナ、ミロ、フロー)



パラリンピックピクトグラム



メダル



パラリンピック競技大会画像・映像



過去のイメージ
(例: 64年東京大会)



トーチや聖火台

【保護対象となる各種用語】

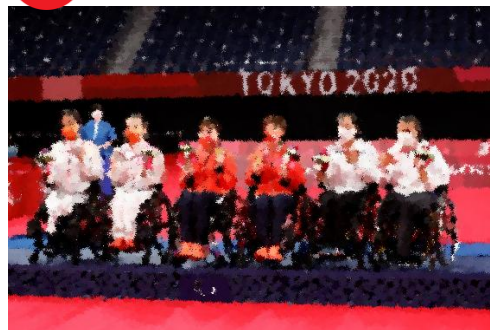
大会名称等の各種用語も知的財産であり保護の対象となるため、権利主体者(IPC、JPC、IOC、ミラノ・コルティナ2026大会組織委員会)の許可なしに使用することはできません。

- ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会
- Milano Cortina 2026 Paralympic Winter Games
- ミラノ・コルティナ2026冬季大会
- Milano Cortina 2026 Winter Games
- ミラノ・コルティナ2026
- Milano Cortina 2026
- パラリンピック
- パラリンピアン
- Spirit in Motion
- 聖火/聖火リレー/トーチ/トーチリレー
- パラリンピック日本代表選手団

アンブッシュ例 パラリンピックを想起させる表現

参考例

- ❌ パラリンピック知的財産(用語・マーク)を使用
- ❌ パラリンピック(過去大会を含む)の競技シーンを使用
- ❌ 金銀銅、メダル、ミラノ・コルティナ、冬、2026などのパラリンピックを想起させやすい用語や映像等と大会参加者を結びつけて、パラリンピックをイメージさせるような演出
- ❌ ミラノ・コルティナ2026大会期間中の、パラリンピック以外の競技大会の入場行進、メダルセレモニー、スタート直前・フィニッシュ直後、競技シーンなどの映像・イメージを用いてパラリンピックを想起させるような演出
- ❌ パラリンピック日本代表を想起させるユニフォームを着用
- ❌ ミラノ・コルティナ2026大会会場(または類似のセット)の前や中で撮影したシーン



NG例)パラリンピック会場で撮影したシーン

NG例)パラリンピック知的財産が写るシーン

※上記は、「パラリンピックを想起させる表現」の一例ですが、上記の内容に限定されません。
また、「パラリンピックを想起させるか否か」は、全体の内容や文脈から判断されます。

アンブッシュにあたらない例 パラリンピックを想起させない表現

参考例

- ✓ 大会参加者が、日常生活(仕事、食事、散歩、買い物、運転など)の中で、商品・サービスを広告・宣伝するシーン(パラリンピックを想起させないもの)
- ✓ 競技大会とは明らかに異なるスポーツシーン
- ✓ 子供達にスポーツを教えているシーン
- ✓ 大会参加者が、競技会場以外の場で談笑や飲食するシーン
- ✓ 練習の準備をしているシーン(パラリンピックを想起させないもの)
- ✓ ウェアや競技用具等の広告・宣伝(パラリンピックを想起させないもの)。ただし、大会参加者は大会期間中、広告対象のウェアや競技用具がスポーツパフォーマンスを向上させる性能や機能を持つことをうたった広告・宣伝活動に出演することはできません。



※上記は、「パラリンピックを想起させない表現」の一例で、上記の内容に限定されません。
また、「パラリンピックを想起させないか否か」は、全体の内容や文脈から判断されます。

オリンピック・パラリンピックパートナー/スポンサー

オリンピック・パラリンピック ワールドワイドパートナー



オリンピック・パラリンピック プレミアムパートナー



オリンピック・パラリンピック パートナー



オリンピック・パラリンピック スポンサー



2025年12月10日時点

JPCオフィシャルパートナー



Chapter 2

【団体・企業等が発信する場合】

大会に関連した活動



基本概要

知的財産権(肖像権)使用の可否

競技大会パートナー(ワールドワイド・大会パートナー国内スポンサー)以外の組織・団体が、ミラノ・コルティナ2026大会やパラリンピック日本代表選手団に関連する活動を行うことに対しては、厳しい制限が設けられています。

以降の内容をふまえて、アンブッシュにならないようご注意ください。

活動内容	競技大会 スポンサー	非パートナー		
		所属先	アスリート スポンサー	* 非営利組織・団体
プレスリリース	✓	✗	✗	✓
Webサイトの掲載/SNS (大会参加者に関する メッセージ)	✓	▲ 制限有り	▲ 制限有り	✓
記者会見	✓	✗	✗	✓
壮行会・祝勝会・報告会	✓	▲ 内部行事のみ	▲ 内部行事のみ	✓
お祝い横断幕	✓	✓	✓	✓

*「非営利団体」

競技団体、自治体、教育機関、NPO／NGO、商工会議所・商店会、医療法人等を指します。

本ガイドラインでは、Webサイトの掲載/SNS(大会参加者に関するメッセージ)および**プレスリリース、記者会見、壮行会・祝勝会・報告会、お祝い横断幕に関するルール**について説明します。以降の内容をふまえて、アンブッシュにならないようご注意ください。

※広告における選手の肖像利用については申請が必要となります。詳細は「日本代表選手団員等の広告宣伝における肖像利用に関するガイドライン」をご参照ください。

プレスリリース

プレスリリースは、広報・PRツールであり、アンブッシュ規制の対象となるため、「所属先」「アスリートスポンサー」等は掲載することはできません。ただし、非営利団体は可能です。

Webサイトの掲載/SNS(大会参加者に関するメッセージ)

Webサイト/SNSに係る概要

「所属先」および「アスリートスポンサー」は、選手の内定・出場決定(日本代表選手団決定)・最終競技成績、**各1回ずつ**、自社サイト(日本語)の一部に掲載することができます。「非営利団体」については、回数制限はございません。

※要申請

※メッセージ発信の期間は、**2026年12月31日まで**

※表現の制限あり(例文を参照)

【掲載場所】

- ✓ 自社HPにニュース形式での掲載(ニュース一覧等への掲載)は可。
- ✓ 自社公式SNSでの発信は、投稿の性質や予定されている内容などの計画を事前報告した上で、掲載可(非営利団体は事前報告は不要)。
- ✓ 日本国内向けのみ(日本語サイトのみ)可。
- ✗ ”特設ページ”とみなされるものは不可。

【掲載内容】

- ✓ 顔写真(パラリンピック公式服装はNG、肩より上、ノーブランド、ロゴなし)は可(次頁を参照)。
- ✓ 原則、「内定」「日本代表選手団 決定」「試合結果(最終結果)」の1回ずつ掲載可。
- ✗ 商業目的であるもの。
- ✗ 「応援しています」等の表現は不可(非営利団体は可)。
- ✗ パラリンピック日本代表選手団を対象としたお祝い活動ではないこと(非営利団体は可)。
- ✗ 用語以外のパラリンピック知的財産(大会マーク、エンブレム、ピクトグラム、マスコット、大会画像など)を使用しないこと。
- ✗ メッセージと共に、直接的または間接的に自社および自社製品・サービスの広告・宣伝を行わないこと。
- ✗ 上記活動に伴い寄付・募金活動を行わないこと。
- ✗ メディアへのプレスリリース配信をしないこと(非営利団体は可)。

これらのガイドラインに違反した場合、該当するコンテンツが削除される可能性があります。また、IPCおよび／またはミラノ・コルティナ2026大会組織委員会は、独自の裁量により、認定を取り消しまたは撤回する権利を有します。

Webサイトの掲載/SNS(大会参加者に関するメッセージ)

Webサイト/SNSに係る概要

JPCにおける【内定】と【決定】について

【内定】は、競技団体内で大会へ出場する選手を推薦することです。この段階では、JPC内での承認(決定)がまだされておられません。

掲載される場合は、以下の例文をご参考になしてください。

- ・ 競技団体■■■は、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会出場について、●●選手をJPCに推薦致しました
- ・ 競技団体■■■が、●●選手のミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会出場について内定を発表いたしました
- ・ ●●選手が、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会の出場権を獲得しました

【決定】は、JPC の承認を経てJPCが日本代表選手として発表した段階で、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会への出場が「確定」となります。

掲載する場合は、以下の例文をご参考になしてください。

- ・ ●●選手のミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会の出場が、確定(決定)しました
- ・ ●●選手は、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会について日本代表選手団に選出されました

Webサイトの掲載

Webサイト掲載例【出場決定】



NEWS 当社所属〇〇 ▲▲選手のミラノ・コルティナ2026パラリンピック 出場決定のお知らせ

2025.12.20 **NEW**

当社の社員である〇〇▲▲が、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会のparaアイスホッケー競技の選手として出場いたします。

〇〇選手は、同競技をはじめて間もない平昌2018大会にて入賞後、数々の国際大会に出場。北京2022大会では惜しくも入賞を逃したものの、世界選手権含む様々な世界大会で優秀な成績をのこし、今回のミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会の日本代表に選出されました。



〇〇 ▲▲選手

【〇〇▲▲選手のコメント】

日本を代表し、再び世界最高峰の舞台で競えることを誇りに感じております。周囲の方々の理解やサポートへの感謝を忘れず、自分の全力を尽くしてメダル獲得を目指します。

【主な成績】

2018	平昌2018パラリンピック冬季競技大会	4位入賞
2022	北京2022パラリンピック冬季競技大会	9位
2025	paraアイスホッケー世界選手権	出場

〇月〇日 当社所属〇〇〇〇選手のミラノ・コルティナ2026パラリンピック出場決定のお知らせ

〇月〇日 202〇年3月期(第××期)配当予想の修正に関するお知らせ

〇月〇日 抽選でプレゼントが当たる！クイズキャンペーンを開始

[前の記事へ](#) | [一覧へ](#) | [次の記事へ](#)

❗ ポイント

- ホームページのニュース一欄に文字情報として掲示し、次の階層に本文・顔写真等を掲示してください。トップページに、お祝いメッセージを露出することはできません。
- 成績紹介は、過去のパラリンピック大会の成績だけではなく、他の大会とのバランスがとれた記載としてください。

※上記は一例で限定されるものではありません。ご不明の点がありましたら、該当競技団体を通してJPCまでお問い合わせください。

Webサイトの掲載

Webサイト掲載例【応援・お祝いメッセージ】

× NG例



お知らせ

2026.03.08

〈Road to Milano Cortina〉

当社所属 日本代表〇〇〇〇選手がミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会で銀メダルを獲得しました!!

当社の社員である〇〇〇〇が、日本代表としてミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会のアルペンスキー競技において、銀メダルを獲得しました。おめでとうございます。

当社は引き続き日本代表を応援します!

① ポイント

- お祝いメッセージは、事実のみの内容としてください。
例えば「〇〇〇〇選手がミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会で銀メダルを獲得しました」は可。
- 日本代表選手の応援活動は、「競技大会パートナー」の権利です。
「競技大会パートナー」以外の企業がパラリンピック日本代表選手(団)を応援することはできません。原則、結果については最終結果のみとなります。

※上記は一例で限定されるものではありません。ご不明の点がございましたら、該当競技団体を通してJPCまでお問い合わせください。

SNSの掲載

SNSに係る追加概要

アスリートスポンサー等の公式SNSでの発信は、投稿の性質や予定されている内容などの計画を事前報告した上で、掲載可能です。

ただし、競技大会パートナー以外の企業とパラリンピックとを関連付けてはいけません。

大会参加者によるアスリートスポンサー等への感謝メッセージは、参加者自身(個人)のSNSで発信することができます。その投稿に対し、所属先/アスリートスポンサーは”リポスト・シェア・いいね”をすることができます。

ただし、大会期間中に投稿する回数は、大会参加者に対して**1回のみ**となります(非営利団体は回数制限なし)。

複数のSNSで内容が同一且つ同時時間帯に掲載されたものは、全SNSで1回と数えます。

また、追加文やハッシュタグを追記するなどは不可とします。

【掲載内容】

- ❌ 知的財産の使用不可。
- ❌ アスリートスポンサー等の広告を含むもの。また、広告へのリンクも不可。
(パラリンピックとの結びつきを想起させる文言やハッシュタグ等不可)
- ❌ 製品等が大会参加者のパフォーマンスを向上させるような表現は不可。また、製品等の推奨不可。
- ✅ IPC/組織委/JPCなどのコンテンツの再投稿は可能だが、アスリートスポンサー等と結びつけないこと。

これらのガイドラインに違反した場合、該当するコンテンツが削除される可能性があります。また、IPCおよび／またはミラノ・コルティナ2026大会組織委員会は、独自の裁量により、認定を取り消しまたは撤回する権利を有します。

SNSの掲載

SNS 掲載例

OK例



！ポイント

アスリートスポンサー等に対する
簡素な感謝メッセージを
リポスト・シェアすることは可能です。

NG例



！ポイント

アスリートスポンサー等とパラリンピックを
関連付けた文章・画像の追加、
パラリンピック知的財産の使用(画像、ハッシュタ
グ)は不可となります。

※上記は一例で限定されるものではありません。ご不明の点がありましたら、該当競技団体を通してJPCまでお問い合わせください。

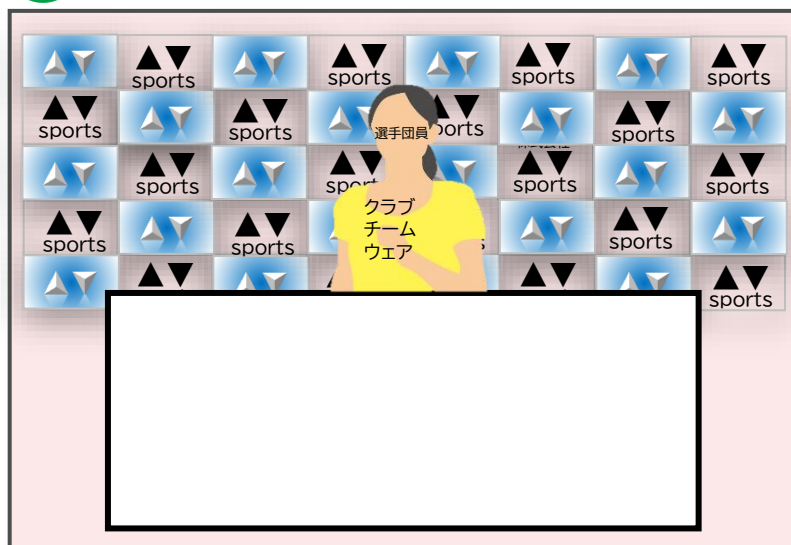
記者会見(内定/代表決定)・壮行会・祝勝会・報告会

記者会見(内定/代表決定)

「競技団体」ほか「非営利団体」のみが実施できます。ただし、競技団体スポンサー等の広告宣伝活動にあたる表現・表示は認められませんのでご注意ください。

- ❌ 商業利用は禁止。
- ✅ 日本代表選手団ユニフォーム、または競技団体のスポンサーロゴが無いユニフォームの着用。
- ✅ バックボード等のロゴマーク掲出は主催者である「競技団体」および「非営利団体」。

✅ OK例



競技団体名や競技団体ロゴのみ掲載のバックボード
スポンサーロゴの入っていないチームウェア

壮行会・祝勝会・報告会

「所属先」「アスリートスポンサー」は、内部行事としての実施のみ可能です。

対外的情報発信および、メディアのリリース/動員・招待はできません。

非営利団体の場合は、実施および対外的情報発信が可能です。

(※ただし、宣伝にならない内容のみ)

お祝い横断幕

「所属先」および「アスリートスポンサー」「非営利団体」は、選手の出場決定（内定）や競技成績に関するお祝い横断幕を掲出することができます。

【掲出期間】

2026年12月31日まで

【掲出場所】

- ✓ 「所属先」「アスリートスポンサー」は敷地内のみ。
- ✓ 「非営利団体」は非スポンサーの看板等に近接しない場所に掲出。
- ✗ 店舗など第三者の目に触れる場所は不可。

【掲出内容】

- ✓ 表現は事実と祝辞のみ
例)「2026出場おめでとう！ ●●競技●●選手」
- ✗ 企業・団体名称（ロゴマーク含む）の記載は不可。

✗ NG例



- ・第三者の目に触れる店舗などへの掲出
- ・企業・団体名称（ロゴマーク含む）掲出
- ・パラリンピック知的財産の使用

✓ OK例

祝 ○○ ▲▲ 選手
ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会
【アルペンスキー競技】 出場決定おめでとう！！

事実のみの掲載/企業・団体名・ロゴマーク掲出無し（非営利団体のみ可）

✗ NG例



企業とパラリンピックが関連付けられる文言、企業ロゴ掲出、パラリンピック知的財産の使用は不可

※上記は一例で限定されるものではありません。ご不明の点がございましたら、該当競技団体を通してJPCまでお問い合わせください。

Chapter 3

大会参加者(個人)が発信する場合



SNS【アスリートスポンサー等への感謝メッセージ】

大会参加者は、アスリートスポンサー等への感謝メッセージを自身のSNSで対外的に情報発信することができます。

ただし、アスリートスポンサーとパラリンピックと関連付けてはいけません。

(内容・添付画像・ハッシュタグを含む)

また、大会期間中に投稿できるのは、同スポンサーに対し**1回のみ**。

複数のSNSで内容が同一且つ同時時間帯に掲載されたものは、全SNSで1回と数えます。

【掲載内容】

- ❌ 大会期間中の写真の使用不可。
- ❌ パラリンピックの知的財産の使用不可。
- ❌ アスリートスポンサー等の広告を含むもの。また、広告へのリンクも不可。
(パラリンピックとの結びつきを想起させる文言やハッシュタグ等不可)
- ❌ 製品等が大会参加者のパフォーマンスを向上させるような表現は不可。また、製品等の推奨不可。
- ✅ IPC/組織委/JPCなどのコンテンツの再投稿は可能だが、アスリートスポンサー等と結びつけないこと。





羽本 里美 @satomi_hanemoto
◆◆株式会社の皆様、
たくさんのご声援ありがとうございました！



hh:mm yy/mm/dd
★★★
👍👍👍

アスリートスポンサー等に対する簡素な感謝メッセージ。
写真もパラリンピック以外のものを使用。
かつ、ユニフォームもパラリンピック大会以外のもの。





羽本 里美 @satomi_hanemoto
◆◆株式会社のサポートのおかげで夢である**パラリンピック出場**を果たし、**メダル獲得**という**最高の成績**を残すことができました！ありがとうございます！！
これからもよろしくお願いします！！
<http://abc-kigyoushiki.co.jp>



hh:mm yy/mm/dd
★★★
👍👍👍

アスリートスポンサー等とパラリンピックへの関連付け、パラリンピック知的財産の使用(画像、ハッシュタグ)

SNS【大会に関する投稿】

概要(IPC発行「IPC DIGITAL MEDIA GUIDELINES」より)

- デジタルメディアとは、ビデオ画像/静止画/音声/アニメーションGIFをさします。**ライブストリーミングは不可**。
- 個人のSNSで投稿する事が可能です。推奨ハッシュタグは、**P28 推奨ハッシュタグ**をご参照下さい。尚、**投稿可能な時間や撮影可能場所**は次頁をよく確認してください。
- 投稿内容は差別的/攻撃的/下品/誹謗中傷などの内容の発言やコメント、ジェスチャーその他行為を禁止されています。また、競技に関する抗議も固く禁じられています。
- 商業目的及びマーケティング目的でIPCと第三者、ミラノ・コルティナ2026大会またはパラリンピックムーブメントとの間に関連性を持たせること、示唆させることは不可。
- プロ仕様の機材を使用すること**は不可。携帯電話を使用しての写真撮影および／または音声や動画の録音・録画は可。
- 知的財産を使用することは不可。ただし、撮影画像の一部(背景等)に映りこんでしまった場合は問題ありません。
- 選手団アクレを付けた選手団員が、メディア行為をすることは禁じられています**。ニュース報道機能の一環として投稿の作成、配信、提供することも禁じられています。
- 人工知能(AI)またはAIによって生成されたコンテンツまたはアウトプットを使用**している場合は不可。

本件に関するガイドラインの適用期間

2026年2月27日(金)～3月17日(火)

※大会開催日は2026年3月6日～3月15日

ドメイン名やアカウント名

- 「〇〇〇(個人の名前)@paralympic.com」/「@〇〇〇paralympic」は不可。
 - パラリンピックをテーマとしたウェブサイトやアプリケーションを作成するのは不可。
 - 自らのウェブサイトや個人のプラットフォームにライブストリームや公式コンテンツをサイトに掲載する事も不可。
- 尚、作成された場合はIPCの所有物とし、権利をIPCに譲渡すること。

SNS【大会に関する投稿】

投稿内容に関して

【撮影場所】

- ✕ 選手村内における下記エリア
〈ポリクリニック/ドーピングコントロールエリア/礼拝堂/他チームの住居区域〉
- ✕ 競技エリア内における下記エリア
〈控室(コールルーム・コーチエリア・ウォームアップエリア等を含む) /
ミックスゾーン/ドーピングコントロールエリア/メディカルエリア
スポーツパフォーマンス/国歌斉唱/コイントス/表彰式〉
- ✓ 上記以外の選手村内
- ✓ 上記以外の競技エリア内 ※1日2分間まで
- ✓ 開閉会式 ※日本選手団は開会式 入場行進時は不可
- ✓ 公式輸送エリア
- ✓ トレーニング会場/練習会場

【投稿時間】

- ✕ 競技開始1時間以内
- ✕ 競技終了直後、ミックスゾーン/ドーピングコントロールエリア内

【投稿内容】

- ✕ (i) 表彰式、または (ii) スポーツ競技(国歌斉唱、コイントス、競技エリアでのいかなる祝賀行事を含む)
- ✕ ライブストリーミング。
- ✕ 2分以上のビデオ画像/静止画/音声/アニメーションGIF。
※2分以内のビデオ画像/静止画/音声/アニメーションGIFであったとしても、
他の人物が映っている場合は、投稿前に必ず本人の同意を得てください
- ✓ 自身のレースや競技の映像が掲載された地元のメディア権利保有者または@Paralympicsのデジタルチャンネルのコンテンツについては、再投稿を積極的に推奨される。

これらのガイドラインに違反した場合、該当するコンテンツが削除される可能性があります。また、IPCおよび／またはミラノ・コルティナ2026大会組織委員会は、独自の裁量により、認定を取り消しまたは撤回する権利を有します。

SNS【大会に関する投稿】

投稿内容に関して

【投稿例】



大会内容についての記載



大会ハッシュタグ



競技中の写真/
プロの機材を使用したもの



企業や商品・サービスの
PRを意図したもの



2分以上の動画の掲載

Appendix



国内競技団体(NF)による事業

国内競技団体(NF)は大会期間中、イベントやプロモーションに大会参加者の肖像を使用することができます。

ただし、パラリンピック日本代表をテーマとするイベント・PRは禁じられています。

大会参加者に関わる製作物

非営利団体であっても知的財産を使用したグッズ製作はできません。

国内競技団体(NF)及び大会参加者によるスポンサー、所属先の紹介

知的財産を使った紹介はできません。

パラリンピック以外の競技大会における日本代表に関する表現は、パラリンピックと混同されないように、大会名などを明記してください。

IPC/JPC/ミラノ・コルティナ2026 公式アカウント等

推奨ハッシュタグ(非営利団体・日本代表選手団員個人の利用のみ)

- | | |
|--------------------|------------|
| #MilanoCortina2026 | #jpc |
| #paralympic | #TEAMJAPAN |
| #parasports | #がんばれニッポン |

公式ウェブサイト

- IPC:
<https://www.paralympic.org/>
- JPC:
<https://www.parasports.or.jp/paralympic/jpc/milanpara2026/index.html>
- ミラノ・コルティナ2026:
<https://www.olympics.com/en/milano-cortina-2026/paralympic-games>

Facebook

- IPC:
<https://www.facebook.com/paralympics>
- JPC:
<https://www.facebook.com/jpcsports>
- ミラノ・コルティナ2026:
<https://www.facebook.com/OlimpiadiMilanoCortina2026>

X

- IPC:
<https://x.com/Paralympics>
- JPC:
https://x.com/paralympic_jpc
- ミラノ・コルティナ2026:
<https://x.com/milanocortina26>

TikTok

- IPC/ミラノ・コルティナ2026:
<https://www.tiktok.com/@paralympics>

Instagram

- IPC:
<https://www.instagram.com/Paralympics/>
- JPC:
https://www.instagram.com/paralympic_japan/
- ミラノ・コルティナ2026:
<https://www.instagram.com/milanocortina2026>

※本ガイドラインは、以下にあるIPC発行の原文に基づき作成しております。

主な資料名	オリジナル
<u>IPC Handbook</u> https://bit.ly/44xZrEz	英語版
<u>Athlete Sponsorship and Advertising Regulations</u> https://bit.ly/4pdss0M	英語版
<u>IPC Social and Digital Media Guidelines</u> https://bit.ly/3M81xVt	英語版
<u>Social and Digital Guidelines FAQ for Accredited individuals other than Athletes</u> https://bit.ly/48843Uj	英語版
<u>Social and Digital Guidelines FAQ for Athletes</u> https://bit.ly/4oqcUph	英語版

用語の解釈

本規約では、以下の用語が用いられる。

広告

企業やブランドの商品および／またはサービスを宣伝するために設計された、あらゆる形態の商業広告マーケティングキャンペーンまたはイベント。これにはソーシャルメディアやソーシャルネットワークの投稿（有料か無料を問わず）、有料広告（プレス広告、看板、テレビおよびラジオ広告、オンライン広告など）、ダイレクト広告、PR（個人出演やプレスリリースを含む）、商品プロモーション、貸与、または、アスリートへの商品の贈与、製品内および店舗での販促が含まれる。

アスリート

競技大会への参加資格を取得したアスリート。※日本代表選手団員を含みます。

アスリートスポンサー

競技大会スポンサーではない第三者で、アスリートに資金・物品提供しているもしくは支持している第三者、またはアスリートを広告に使用することを希望する第三者。

祝辞

アスリートや日本代表選手団への激励を表すメッセージ、または競技大会中にアスリートや日本代表選手団の業績を称える祝辞のメッセージ。

競技大会

2026年3月6日から15日にかけてイタリアで開催される、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会。

競技期間

本規約の目的上、パラリンピック選手村の開村から閉村までの2026年2月27日から3月17日までの期間。

競技大会スポンサー

ミラノ・コルティナ2026大会組織委員会が指名するワールドワイドパラリンピックパートナーおよび国内(NPC)スポンサー。競技大会のスポンサーとなり競技大会に関係する権利を有する。

用語の解釈

国際キャンペーン

二国以上のアスリートが等しく目立つように示され、一貫したメッセージとバランスのとれた宣伝活動の広告(国際パラリンピック委員会が行うキャンペーン)。

IPC

国際パラリンピック委員会(International Paralympic Committee)。

IPCハンドブック

IPCの規則と規約で、IPCのウェブサイトで購入できる(随時更新され
<https://www.paralympic.org/ipc-handbook>で公開されている)。

メディア権利保有者

ミラノ・コルティナ2026により、一つ以上の地域で競技大会を放送する権利を付与されたメディア企業。

ミラノ・コルティナ2026大会組織委員会

ミラノ・コルティナ2026オリンピック・パラリンピック冬季競技大会組織委員会。

国内キャンペーン

同じ国の複数のアスリートを含む広告で、その国での公開または配信を目的としているもの(その国の現地語で行われる、および／またはその国のメディアで公開されるもの)で、NPCとのパートナーシップ契約および／またはNPCによる事前承認を必要とするもの(JPCパートナーが行うキャンペーン)。

NPC

競技大会に参加する国の国内パラリンピック委員会。

日本代表選手団

JPCが決定したパラリンピックチーム。

日本代表選手団のユニフォーム／キット

日本代表選手団のメンバーを識別するために使用できる、競技用および非競技用の衣服やアクセサリなどのあらゆる形態の衣服。

用語の解釈

パラリンピック関係者

IPC、ミラノ・コルティナ2026大会組織委員会、競技大会スポンサー、メディア権利保有者および／またはNPCとそのナショナルパラリンピックチーム。

パラリンピック資産

IPCハンドブックで定義され、本規約の目的上IPCが所有する資産をいい、以下を含むがこれらに限定されないもの。

- パラリンピックのシンボル
- パラリンピックのモットー
- 「パラリンピック」、「パラリンピアド」および「パラリンピアン」という用語
- 「ミラノ・コルティナ2026大会」および「ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会」という用語を含む競技大会固有の知的財産。エンブレムおよびピクトグラム、グラフィックおよびマスコットを含む
- NPCまたはナショナルパラリンピックチームのエンブレム
- IPCまたはミラノ・コルティナ2026大会組織委員会が作成した、またはそのために作成された、映画、音楽、画像、芸術作品、デザイン、またはグラフィックなどのコンテンツ
- 上記と紛らわしいほど類似しているその他のシンボル、デザイン、単語、または表現

パラリンピックムーブメント

IPCが世界的統治機関となるムーブメント、およびIPC、IPC加盟団体、認定国際競技団体、パラスポーツに参加しているまたはパラスポーツのプロモーション、組織化、および／または提供に関与しているその他の者(当該用語はIPCハンドブックで定義されている)から構成されるムーブメントをいう。

ワールドワイドパラリンピックパートナー

IPCのウェブサイト(www.paralympic.org)に掲載されているパラリンピックムーブメントの世界の商業的パートナー(オリンピックパートナープログラムにも参加している)。

JPC申請書類提出および問い合わせ先

公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会 広報課宛

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6

E-mail: jpsa-kikaku@parasports.or.jp